

ホームページのリニューアルについて

広報委員会では JIMGA ホームページを 6 年ぶりにリニューアルし、9 月 29 日から公開しています。従来のホームページでは、リアルタイムな情報発信に技術的な制約があった点を改善し、コンテンツマネジメントシステムという、専門知識が必要な部分は全てシステム側に制御させ、テキストや画像などの情報のみを入れていくことで、簡単に Web サイトを更新することが出来るシステムを導入しました。これにより、最新のコンテンツへの変更を事務局で行えるようになり、タイムラグ解消と共にコストの削減が可能となりました。

コンテンツは従来のサイトから移設しているものがほとんどですが、新サイトの特徴を生かし、今後も内容の充実にも努め、情報発信を強化して行きます。また、新サイトでは産業ガス部門と医療ガス部門のお知らせ欄をトップページに配置すると共に、各種の新機能を搭載しています。今回、その一部をご紹介します。

サイトの新機能について



ページ右上にサイト内検索を設置しています。サイト内で検索したい文字列を入力することにより、素早く情報を探ることが可能となりました。尚、会員専用ページ内での検索は、会員専用ページにログインしてから行ってください。

ページ左下には重点活動等を紹介するボタンを配置しています。今後は RF タグの紹介ページ等を作成し、ボタンを増やしていく予定です。また、JIMGAnews 配信申込フォームも新たに設置していますので、配信を希望する方はこちらからお申込みください。

この他、会員専用ページ内に地域本部ごとの会議の予定ページを新設しています。尚、会員会社ごとに設定されている会員専用ページの ID とパスワードは従来と変わりありませんが、ご存知ない方やお忘れになった方は、事務局までお気軽にお問い合わせください。

新しいサイトでは「何人くらいのユーザーが閲覧しているのか?」「どんなところに注目されているのか?」などのアクセス解析を行い、更なる情報サービスの強化に努めて行きます。皆様のアクセスをお待ちしています。

(広報委員会事務局・和田 彰)

第29回 IHC 国際会議開催報告

国際統合化会議の目的、概要等については、既に第1号で紹介しましたので、今回は先日開催された第29回 IHC (International Harmonization Council) 国際会議について報告します。

米国・ボルチモアで開催

去る8月3日及び4日に、IHC 国際会議が米国・メリーランド州のボルチモアで開催されました。

ボルチモアはメリーランド州、東海岸にある中規模都市で人口は約65万人、大リーグのボルチモア・オリオールズの本拠地です。港湾都市でもあり、ウォーターフロントは非常に快適に開発されており、市民の憩いの場にもなっており、米国としては美味しい海鮮料理を頂くことができます。



ボルチモアのウォーターフロント

IHC 国際会議は、世界の4協会 (JIMGA、CGA、AIGA、EIGA^{注1}) が参加して国際統合化指針等の討議を年2回行います。この会議は、主催が CGA → AIGA → EIGA → JIMGA の順に持ち回りとなっており、今回は米国の CGA の主催で、JIMGA から3名、EIGA から3名、AIGA から1名、主催者の CGA からは4名が参加しました。

会議では、前回会議の内容の確認、各協会からその間の活動概要の報告等を行うと共に、国際統合化指針の取組み状況をメインとして討議しました。

JIMGA としては、3月の大震災の影響でかなりの IHC プロジェクトの取組みが遅れることとなり、会議において報告の上、影響を受けたプロジェクトの取組みについては、向こう6～12ヶ月の延期を申入れ承認されました。今後約30件あるプロジェクトを皆様のご協力の下、鋭意努力して進めていく必要があります。

今回特に話題となったのが医療ガス関係で、JIMGA からも PIC/S^{注2} への対応等について報告しました。IHC においても今後医療ガス関係の活動を強化することとなり、11月8日の電話会議にて、取組む課題等について討議する予定です。

注1 CGA : Compressed Gas Association (北米), EIGA : European Industrial Gases Association (欧州), AIGA : Asia Industrial Gases Association (アジア)

注2 PIC/S とは医薬品製造査察共同機構の略称で、加盟国間での医薬品製造の査察に関する協力の枠組みを定める協定締結を目的としている。本年1月に米国 FDA が加盟し、延べ37ヶ国が加盟している。日本は厚生労働省が、昨年 PIC/S 加盟を表明、現在加盟申請に向けての準備を行っている。

次回はタイ・バンコクにて

次回の第30回 IHC 国際会議は AIGA 主催で、2012年2月29日、3月1日の2日間、タイのバンコクで開催されます。また、今後の予定としては、2012年7月下旬が EIGA 主催による IHC 国際会議、JIMGA が主催する会議は2013年の3月頃に開催予定です。

(国際部会事務局・増田 弘)

透明性の高い組織運営を目指し、事業の継続性を強化

JIMGA では昨年度より「透明性の高い組織運営」や「業務の効率化、維持、向上」、「コンプライアンスの強化」の実現を図るため、次のことを実施しています。

内部監査推進・運営の健全化・法令遵守・認知度の向上

はじめに、内部監査の推進です。当協会の「経理規程」に内部監査があげられていますが、今般本部及び地域本部の内部監査を実施しました。この内部監査には、会計監査のみならず業務監査も織り込んでいます。地域本部による「自己評価チェックシート」での自己監査、及び監査責任者による実施監査を行います。適正な経理処理、業務運営が行われているかを確認しながら、今後も定期的に行う予定です。

二つ目は予算の適正な運用、処理に関連し、規程として制定されている「発注・購入・支払要領」の運用の再確認と「決裁基準」の徹底です。これらは従来も実施していましたが、当協会の財政運営の健全化、予算の適正な立案、コストの削減等を目的に、尚一層徹底していきます。

三つ目は、昨年度設置した調査・統計部の運営です。当協会では、各種データの収集、統計業務は、本部や地域本部で行っており、業界動向、産業界の動向把握のために役立てています。

この各種データの取扱い・集計結果の内容には十分な考慮が必要

です。独占禁止法等、関係法令を遵守することを前提に顧問弁護士とも相談し、データの取扱い、運用、収集方法、公表、管理について明確化、明文化しました。

四つ目が積極的な広報活動による当協会活動の迅速な情報の開示、PR です。昨年度、広報組織を総務部会のワーキンググループから委員会への格上げを行いました。また、本 JIMGAnews の隔月の発行による、本部や地域本部の活動の発信、会長の定期的な記者会見を実施することで、協会活動の認知度の向上、透明性の高い組織運営を目指します。



(H23年6月15日 会長記者会見)

今後の課題は「大規模災害緊急対応マニュアル」

事業の継続性の観点から、今後の課題は、「大規模災害緊急対応マニュアル」の策定と運用です。東日本大震災時、当協会では、この様なマニュアルが無かったものの、会員各社や職員の知恵を結集し、早急な対応をしました。現在、大震災や最近の大型台風の経験を基に組織全体での対応を念頭に置き、対策本部の設置、各種課題への対応方法、指示命令系統の確認、職員の避難方法や防災用品の準備についても、検討をしています。 (専務理事・豊澤 幸平)

地域本部紹介 ～ 事業所保安点検で独自の活動 九州～

九州地域本部は九州7県及び沖縄県の会員で構成されています。地域本部はJR小倉駅から徒歩10分程のワシントンビル4階にあります。会議・総会等は福岡市博多で開催しますので今年3月の九州新幹線全線開通により、鹿児島から1時間20分、熊本から30分と非常に便利になりました。

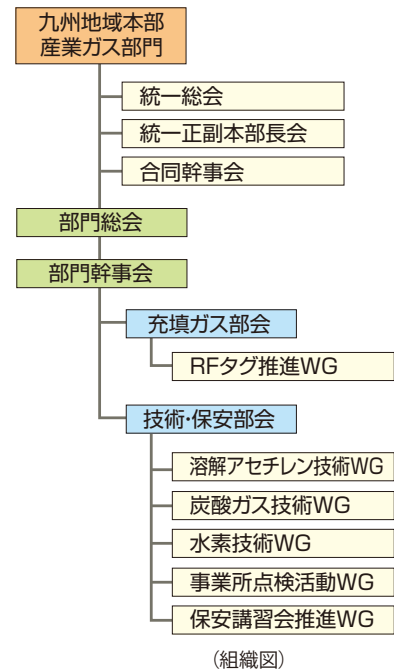
組織の沿革

昭和23年設立の九州酸素協会及び昭和30年代に設立された九州溶解アセチレン工業会、炭酸ガス工業会九州支部が合併し、平成13年4月には日本産業ガス協会九州地域本部が設立され、平成19年10月に日本医療ガス協会九州地域本部との合併を経て現在に至っています。

構成概要と活動内容

産業ガス部門の会員数は88事業所で、福岡県が半数近い41事業所を占めています。(医療ガス部門の会員数は144事業所。産業・医療合計の会員数は136社、174事業所)総会は医療ガス部門との統一総会で開催し、幹事会も同様に合同幹事会として開催しています。

次に九州地域本部が独自活動として実施している「事業所保安点検」についてのご紹介です。本活動は高圧ガス保安活動促進週間行事の一環として、九州産業保安監督部並びに那覇産業保安監督事務所の後援を受けて実施しています。点検活動の概要は以下の通りです。《実施期間》10月～11月の2ヶ月間。《点検対象事業所》高圧ガス販売事業所及び消費事業所。《点検員》技術保安部会の委員会社を中心としたJIMGA会員会社の社員が行います。《点検内容》所定の点検表に基づいて書類・帳票の管理状況、教育訓練、容器置場、消費管理、移動管理等について良否を判定し、問題点について改善指導を行います。《点検事業所の件数》平成22年度実績は販売事業所133件、消費事業所834件です。《点検結果の周知》点検結果報告書を総会議案書に掲載して全会員に周知します。



重要課題とその取組み内容

今年度は保安の確保を目的に以下の3点について重要課題として取り組んでいます。①「容器管理指針」については各県より順次発行します。現在、福岡県・宮崎県で発行され、近日中にも佐賀県・鹿児島県からも発行となります。②「RFタグ普及」については引続き会員への周知活動に注力いたします。③「放置容器及び不明容器対策」については、特にユーザーから回収を依頼される所有者不明容器等は、容器処理費用がユーザー負担であることを明確にして、会員に周知する取組みが必要と考えています。(九州地域本部事務局・塚原 康夫)